

平成 30 年度研究プロジェクト計画概要

研究種別	■共同研究 2	公益目的事業 11
主査名	福田弥夫 日本大学危機管理学部長	
研究テーマ	レベル 5 の完全自動運転と賠償責任の帰属 －交通事故被害の救済と事故解析の検討を中心に－	
<p>自動運転に関する技術の進展はわれわれの想像を超える速度で進行している。各国の自動車メーカーは自動運転技術発展の競争にしのぎを削っており、その技術に注目が集まっている。しかし、どのような技術の進展があろうとも、避けて通れないのが事故の発生と交通事故被害者の出現である。申請者である福田弥夫と研究メンバー候補である甘利公人は、国土交通省の自動運転研究会のメンバーであり、自動運転と賠償責任そして自賠責保険との関係の検討に参画してきた。国土交通省の研究会は、とりあえずレベル 4（制限された地域における自動運転）についての検討を済ませ、現行の自賠責保険の範囲内での対応が可能であると結論付けている。しかし、レベル 5（一切制限のない完全な自動運転）については、その実現は時間的にもまだ先のことであると考えられ、問題点の指摘は行ったものの、直接の検討対象とはしなかった。</p> <p>そこで、平成 30 年度のプロジェクトでは、国土交通省の研究会が将来的な課題としたレベル 5 の完全自動運転と賠償責任の帰属について検討を加えることとしたい。すなわち、運転席に誰も乗車せず、遠隔の運転者も存在しない、自立型の完全自動運転車が一般道等での走行を開始した場合の交通事故と賠償責任の関係についての検討を、自賠法との関係から進めてゆく。そして、賠償責任を考える場合に不可欠な交通事故の当事者の過失割合やさらには事故原因をめぐる交通事故関係者間の責任割合の確定等に不可欠であり、国土交通省の研究会が具体的な検討課題として提示している「自動運転下で発生する交通事故の解析機構（仮称）」の在り方についても検討を加える。</p>		